

紺碧の海

令和7年5月26日 第2号 文責：校長



戸羽 碧波君、吉田 陽翔君の
両団長による力強い選手宣誓で
熱戦の火蓋が切られました

一中運動会「笑進 ～限界を超えろ!!!～」 僅差で黄組優勝！

パフォーマンス賞は紅組 応援賞は両組団が獲得！



今年の運動会は、希に見る大接戦でした。女子選抜リレーが終わった段階で同点、最後の男子選抜リレーで決着が決まるという物凄い展開でした。それぞれの競技において、綿密に作戦やオーダーを考えたり、練習を重ねたりしながら、組団の中で様々補強し合い、最後まで諦めない姿勢を貫いた結果だと思えます。また、スタートから最後まで途切れることなく、競技する仲間に対して迫力ある応援を展開し続けた各組団の意地と意地の張り合いに、会場にいた誰もが感動したと思いますし、「両組団に応援賞」は誰もが納得でした。組団の枠を超えて、声援を送ったり、お互いを称え合ったりという場面も沢山見られ清々しさを感じました。更に組団パフォーマンスでは、一条乱れぬ動きとはじける笑顔で見ている人の心を熱くさせてくれました。何度も何度も改善を繰り返して、より良いものを創り上げようと頑張ってきた成果が十分に伝わる見事な発表に、私も涙を抑えきれませんでした。来賓の方は、「表現力や迫力も凄いが、温かさをととも感じる」と言っておられました。

半日開催の運動会ではありましたが、間違いなく私の教員人生で最高の運動会になりました。運動会は紅組・黄組の勝負ですので、それぞれ勝ち負けはつきませんが、それを超えて、一人一人が輝けたこと、そして「一中全体の輪と団結力」を高めることができた運動会になったこと、それが、私は一番うれしく思っています。

3年生の皆さんは、3学期から準備を始めました。その中で、常に、仲間や下級生への目配りや気配りを働かせながら、例年以上にきめ細かで計画的な取り組みを進めてきました。先日の開会式でも話しましたが、今年の3年生は本当に優しく温かいムードで下級生をリードしてくれたことが特に印象に残りました。そして、1・2年生の皆さんも、3年生の先輩の期待に必死に応え、一生懸命支えようとした動きが見られとても立派だったと思います。

先週の職員朝会で、運動会を終えて、今朝の挨拶運動で生徒達の挨拶がとても元気があって立派だったという報告がありましたが、今回の運動会で培われた力や経験、そして一層強固なものになった仲間との絆を土台にして、これからの学校生活においても、各学年とも次なる目標に向かって更なる高みを目指して実践を積み重ねて欲しいと思います。ここまで素晴らしい運動を創り上げた高田一中生全員を誇りに思います。・・・ありがとうございました。



黄組スローガン！「王華爛漫」

心のバトンをつないで Go!!

紅組スローガン！「鬼焔万勝」



2年生団体競技ぐるぐるハリケーン
見た目よりずっとハード！



何回も練習を重ねた長縄跳び



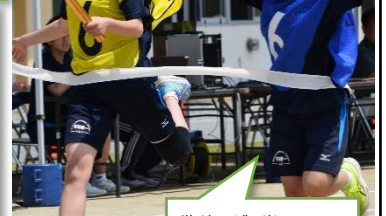
3年団体競技 ちょっと変わった綱引き



最終種目ベストリレー前にポーズ



1年生団体競技
思いをつないでゴールを目指せ！



僅差で逃げ切り！！



全員リレー前に気合いの雄叫び

3年生の感想から

* 今回の運動会では、まず準備の大切さを学びました。修学旅行でも気付いてはいましたが、運動会では、もっとトラブルや急な問題、意見の違いなどがあり、とても大変でした。しかし、事前に準備をしておくことで活動が進みやすくなるなど効果が出ていました。また、とにかく口にしてみるものの大切さを感じました。実現しないこともあるけれど、自分の考えや気持ち、感想を話すことでたくさん修正ができたし、次へつなげる話し合いになったり、自分達の満足できる運動会につながったと思います。そして、目標を決めて活動すること、習慣をつけることの大切さを学びました。全員が楽しめる運動会にしようとしてきて、後輩が楽しそうにパフォーマンスをしていたのがゴールに近づいている感じがしたし、後輩の笑顔がモチベーションになりました。解団式の後輩からのエールでは、みんなが笑顔でエールをしてくれていたのを見て、本当に今まで活動してきて良かったと感じられました。これらの学びを習慣にしていき、より良い学校をつくっていきたいと思いました。(阿部 鈴司さん)

* 中学校最後の運動会、ドキドキとワクワクでいっぱいでした。団長、副団長の役職決めから始まり、取組がスタートしました。何からするのが良いのか分からないまま、曲決めからやり、そこからたくさん工夫をしてきました。そこでは、みんなで決める「協力」が求められたと思います。そこから後輩のことも考え「発想力」を大事にし、応援などの振り付けを決めました。決めた後は「実行力」が求められました。初めて教える立場になって大変だったけれど、3年生のみんなは「やり切る力」があったと思います。本格的に運動会取組がスタートしてからは、先生たちではなく僕たち組団（リーダー）の指示で動きました。ここでは、「言葉選び」「指示的的確さ」が求められました。3クラス集まるので、人も多し、ステージ上で行動が丸見えなので、姿勢から大事にしていきました。総練習後は、もちろん反省点はたくさんあり、改善する部分も多々あったけれど、その改善点をどう直すか、どうすれば色々な人から見て魅力あふれるものになるのか、などたくさん考えました。本番の競技後も、みんなとハイタッチをしたりし、本当の「絆」を知ることができたと思います。(後川 優太さん)